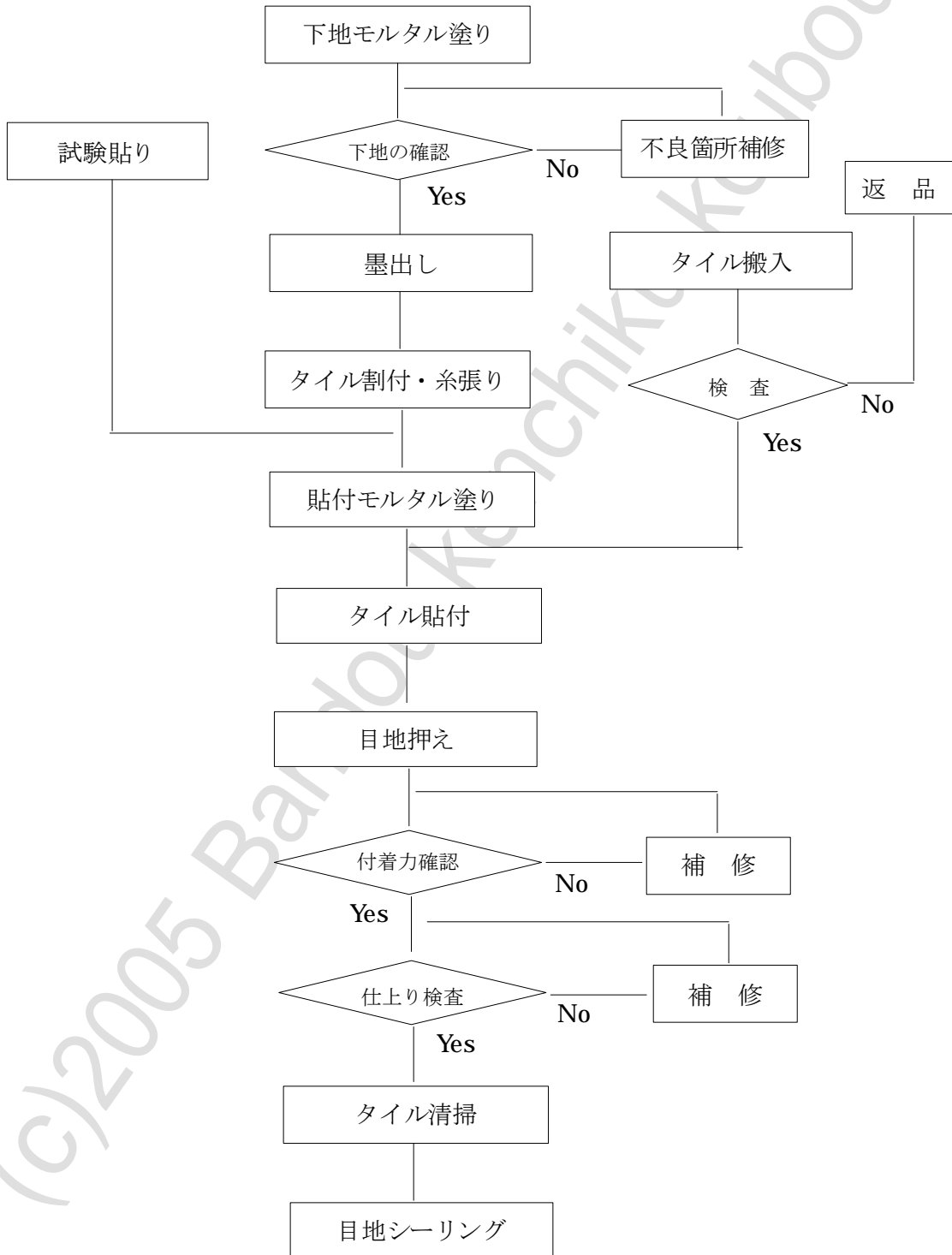


## 6. 外部タイル

### (1) 外壁75角タイル貼付け

#### 1) フローチャート



## 2) 貼り付けモルタル塗り

- 加水混練したモルタルを下地面に金ゴテにて十分力を加えながら塗りつける。
- 下地モルタルの塗り厚は5～6mmとし、2度塗りとする。
- 貼り付けモルタルの1回の塗り面積は貼り付けモルタルを塗ってからタイル貼り付け終わるまでの所要時間が40分以内の面積とする。

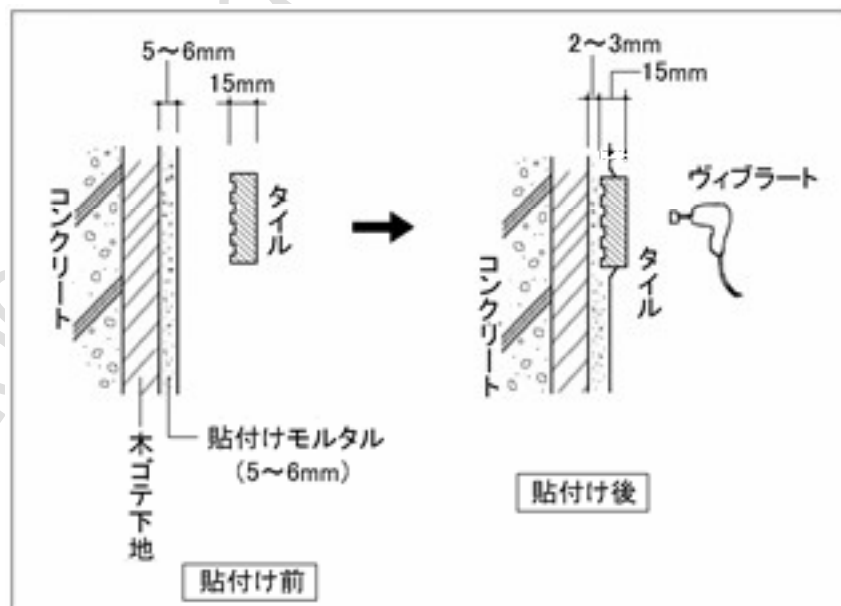
## 3) タイル貼り付け

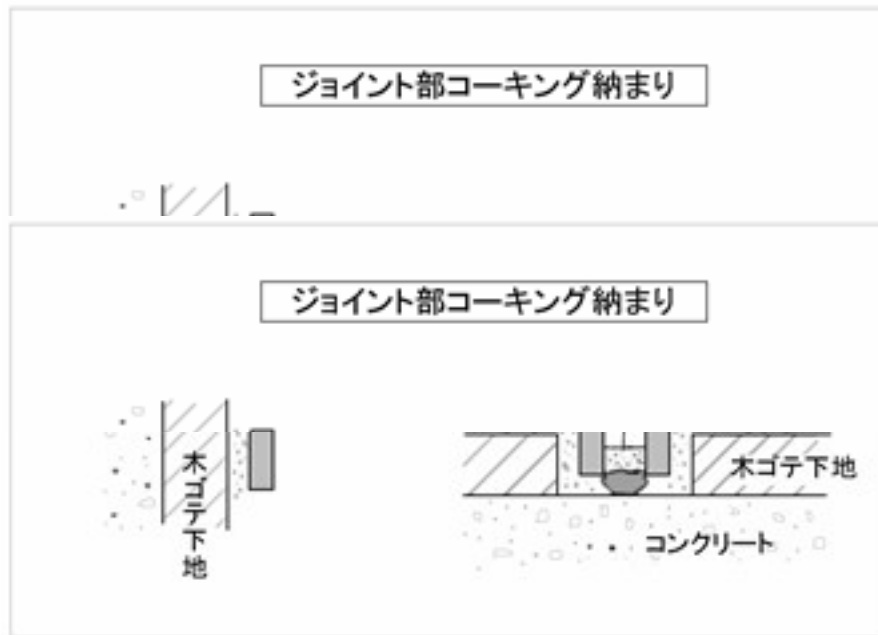
- タイル表面は施釉により色調の濃淡がある。貼り付時に色調が一方に偏らぬように注意する。(製品梱包時に調整、ミックス)
- タイルは水系に沿って定位置よりやや高めにもみ上げるようにして貼り、貼り付けモルタルが目地の部分にタイル厚の1/3以上盛り上がるくらいに電動衝撃工具(ビブラート)を使用して貼り付ける。
- ずれ落ちが生ずる場合は貼り付けモルタルの軟度の調整によって防止し、生セメントや空練りモルタルのふり粉は絶対しない。
- 貼り付けモルタル塗りつけ後、時間が40分以上経過したものはまたは、タイルのくい込みが悪くなったものは、塗りつけたモルタルを掻き取って新たに塗りつけ直しを行う。

## 4) 微調整作業

- 貼り付け後、全体の色調バランス、目地の調整、通りの修正を行う。修正は貼り付け後40分以内にする。

外壁のタイル貼り





## (2) 小口タイル

- a. タイル貼施工の前日に必要な場合はデッキブラシ等で水洗いを行い、境等を除去する。  
また、施工に先立ち適度の水湿しを行う。
- b. 予め施工図・仕上げ墨等により、下地寸法・仕上り寸法等、監督員立会いの上確認し、割りつける。
- c. 仕上墨に基づき縦横にタイル貼り出し用の糸を張り、全体のバランスを見る。
- d. タイル貼付モルタルは、セメントと骨材（粒度配合された珪砂）および合成樹脂粉末を配合したタイルモルタルを使用する。  
また、練混ぜられたタイルモルタルは、60分以内に使用する。
- e. タイルモルタルの一回の塗付け面積は2㎡以下とし、塗付け後30分以内に貼り付ける。
- f. タイル貼付モルタル塗り後、小口タイルをビブラートにてモルタル中によく押し込み圧着する。その際、押し込みが不十分だとタイルの浮き、ハガレの原因となるため、十分に注意する。  
また、貼付け後の目地修正は速やかに行い、縦横の通りを修正する。
- g. 目地詰めはタイル張付け後12時間以上経過してから行う。
- h. 目地詰めは目地専用材料をよく練り合わせ、ゴム鎮により目地部に塗り込み、タイル表面の余分な目地材を水に浸したスポンジで拭き取った後、乾き具合を見て目地鎖にて目地の表面を押え仕上げる。
- i. 作業終了後は、必ず作業場所を整理整頓し、足場上に残材等は決して置いておかない。

- j. タイル洗いは原則として水洗いするが、汚れが著しい場合は希塩酸（30倍溶液）を使用し、隣接仕上材に酸が付着しない様、特に注意する。  
酸洗い後は十分に水洗いする。

### (3) 45二丁掛タイル

- a. タイル貼施工の前日に必要な場合はデッキブラシ等で水洗いを行い、埃等を除去する。また、施工に先立ち適度の水湿または吸水調整材の塗布を行う。
- b. あらかじめ施工図・仕上げ墨等により、下地寸法・仕上り寸法等、監督員立会いの上確認し、割付ける。
- c. 仕上墨に基づき縦横にタイル貼り出し用の糸を張り、全体のバランスを見る。
- d. タイル貼付モルタルは、セメントと骨材（粒度配合された珪砂）・合成樹脂粉末およびモルタル混和材（INAX タイルポリマー）を配合したタイルモルタルを使用する。また、練混ぜられたタイルモルタルは、60分以内に使用する。
- e. タイルモルタルの一回の塗付け面積は2㎡以下とし、塗付け後30分以内に貼り付ける。
- f. タイル貼り工法は、圧着工法とし、タイルモルタル塗り付け後直ちに叩き板を用い、目地部にタイル厚の1/2程度タイルモルタルが盛り上がるまでよく叩き込み圧着する。その際、叩き込みが不十分だとタイルの浮き、ハガレの原因となるため十分に注意する。  
また、貼付け後の目地修正は速やかに行い、縦横の通りを修正する。
- g. 目地詰めはタイル張付け後12時間以上経過してから行う。
- h. 目地詰めは目地専用材料をよく練り合わせ、ゴム鏝にて目地部に塗り込み、タイル表面の余分な目地材を水に浸したスポンジで拭き取る。
- i. 作業終了後は、必ず作業場所を整理整頓し足場上に残材等は必ず片づける。
- j. タイル洗いは原則として水洗いするが、汚れが著しい場合は希塩酸（30倍溶液）を使用し、隣接仕上材に酸が付着しない様、特に注意する。  
酸洗い後は十分に水洗いする。

### (3) 外部床100角タイル

- a. タイル貼施工の前日に必要な場合はデッキブラシ等で水洗いを行い、埃等を除去する。  
また、施工に先立ち適度の水湿しを行う。
- b. 予め施工図・仕上げ墨等により、下地寸法・仕上り寸法等、監督員立会いの上確認し、割りつける。
- c. 仕上墨に基づき縦横にタイル貼り出し用の糸を張り、全体のバランスを見る。
- d. タイル貼付モルタルは、セメントと骨材（粒度配合された珪砂）および合成樹脂粉末を配合したタイルモルタルを使用する。  
また、練混ぜられたタイルモルタルは、60分以内に使用する。

- e. タイル貼付けモルタル塗りは、1時間以内に貼り終える程度とし、床用タイルをモルタル中によく叩き込み圧着する。  
その際、叩き込みが不十分だとタイルの浮き・ハガレの原因となるため、十分に注意する。また、貼付け後の目地修正は速やかに行い、縦横の通りを修正する。
- f. 目地詰めはタイル貼付け後 12時間以上経過してから行う。
- g. 目地詰めは目地専用材料をよく練り合わせ、ゴム銀にて目地部に塗り込み、タイル表面の余分な目地材を水に浸したスポンジで拭き取った後、乾き具合を見て目地鎖にて目地部を押さえ仕上る。
- h. 作業終了後は、必ず作業場所を整理整頓し、足場上に残材等は決して置いておかない。
- i. タイル洗いは原則として水洗いするが、汚れが著しい場合は希塩酸（30倍溶液）を使用し、隣接仕上材に酸が付着しない様、特に注意する。  
酸洗い後は十分に水洗いする。

#### (4) 外部床 150角タイル

##### 1) 貼り付けモルタル塗り

- a. 加水混練したモルタルをした地面に金ゴテにて十分力を加えながら塗りつける。
- b. 下地モルタルへの塗り厚は5～6mmとし、2度塗りとする。
- c. 貼り付けモルタルの1回の塗り面積は3㎡以下とし、貼り付けモルタルを塗ってからタイル貼り付け終了までの所要時間が40分以内の面積とする。

##### 2) タイル貼り付け

- a. タイル表面は施釉により色調の濃淡がある。貼り付け時に色調が一方に偏らぬように注意する。（製品梱包時にミックスしたもの）
- b. タイルは水糸を基準に、貼り付けモルタルがタイルの裏足に十分廻るように叩き込みを行う。
- c. 貼り付けモルタル塗りつけ後、40分以上経過したものまたは、タイルの食い込みが悪くなったものは、塗りつけモルタルを掻き取って新たに塗りつけ直しを行う。

##### 3) 微調整作業

- a. 貼り付け後、全体の色調のバランス、目地調整、通りの修正を行う。修正は貼り付け後40分以内にする。